

## 平成30(2018)年第4四半期(10~12月)国内概況および平成30(2018)年暦年国内概況

### <平成30(2018)年第4四半期(10~12月)国内概況>

- ◆ 2018年第4四半期は、鉱工業生産指数(季節調整済み、2015年=100)は前期から2.0%上昇の105.1となり、2期ぶりの上昇となった。国内企業物価指数は前年同期比2.3%上昇した。消費者物価指数は総合で同0.9%上昇し、エネルギーで同7.7%上昇した。建築着工(季調済み)は前期比2.3%増加、新設住宅戸数(季調済み)は同0.5%増加となった。為替相場は前期比1円43銭の円安となり、3期連続の下落となった。貿易は輸出が前年同期比1.3%の増加、輸入が同11.2%増加し、2期連続の赤字となった。(相澤 なつみ)
  
- ◆ 一次エネルギー国内供給は前年同期比で2.7%減の $116.6 \times 10^{13}$ kcalとなった。石炭は、輸入が減少、在庫の積み増しで同3.6%減の $31.1 \times 10^{13}$ kcalとなり、4期連続で前年同期を下回った。石油は、製品輸入は増加したものの、原油の輸入量が減少、同4.6%減の $46.1 \times 10^{13}$ kcalとなり、8期連続で前年同期を下回った。天然ガス(含、LNG)は同8.9%減の $26.0 \times 10^{13}$ kcalとなった。原子力は、同134.0%増の $4.0 \times 10^{13}$ kcalとなり、7期連続で前年同期を上回った。太陽光や風力等の新エネルギーは、同2.6%増の $5.1 \times 10^{13}$ kcalとなり、水力を含めると再生可能エネルギーが一次国内供給に占める割合は8.0%となった。一次エネルギー国内供給における化石燃料のシェアは88.5%となり、前年同期より2.6ポイント低下、7期連続で前年同期を下回った。  
(恩田 知代子)
  
- ◆ 2018年10月の電気事業者の発電量は前年同月比3.8%減の682.4億kWhとなり、6か月ぶりに前年同月を下回った。原子力は6月に大飯4号機、川内1号機、7月に玄海4号機の営業運転再開があり、同104.2%増の54.3億kWhと20か月連続で前年同月を上回り、電源構成に占める割合は8.0%となった。新エネルギー等も太陽光が増加したことにより、同26.9%増の14.6億kWh、電源構成に占める割合は2.1%となった。火力は同9.2%減の541.7億kWhと2か月連続で前年同月を下回り、電源構成に占める割合は79.4%となった。火力の電源構成の内訳は、石炭32.4%、石油1.5%、LNG40.2%であった。10月~12月の電力広域的運営推進機関による全国10エリアの電力需要実績は、前年同期比3.1%減の2,179億kWhとなった。(江藤 諒)
  
- ◆ 燃料油計の生産量は4,219万kl(前年同期比5.0%減)となった。ジェット燃料油、B・C重油は、各同2.0%増、同6.0%増であったが、ガソリン、ナフサ、灯油、軽油およびA重油が各同6.6%減、同6.4%減、同16.2%減、同3.6%減、同6.2%減となった。国内販売量は4,471万kl(同3.6%減)となった。販売量の内訳を見ると、ガソリンが自動車の燃費の改善等により同3.4%減の1,271万kl、

灯油が前年同期より暖冬であったことから16.8%減の476万kl、B・C重油は原子力発電所の再稼働などの影響を受け、同9.2%減の232万klとなった。(江藤 諒)

◆ 原油処理量は前年同期比5.4%減の4,407万kl、原油輸入量は同5.9%減の4,487万kl となった。地域別輸入量について見ると、カタール、クウェートからの輸入量は前年同期を上回ったが、米国による対イラン経済制裁からイランからの輸入量が91.6%減と激減したことに加え、サウジアラビア、UAEからの輸入量もそれぞれ同7.0%減、同5.7%減となり、中東全体では同8.3%減となった。中東依存度は86.2%となり、前年同期から2.3ポイント下落した。中東以外からの輸入量は、米国からの輸入が同175.0%増と大きく伸びたことにより同12.6%増であった。燃料油輸入は、ナフサを中心に増加し、同12.9%増の999万klとなった。燃料油輸出は、ガソリン、軽油を中心に減少し、同3.5%減の745万klとなった。(江藤 諒)

◆ 2018年10～11月の都市ガス販売量は63億4,380万m<sup>3</sup> (41.8605MJ/m<sup>3</sup>換算)で、前年同期比0.4%増となった。用途別では、気温が高めに推移したことなどで、家庭用が同8.6%減、商業用は同4.1%減、その他用は同11.7%減となった。これに対し、工業用は同5.5%増となった。用途別のシェアは、家庭用が18.4% (同1.8ポイント減)、商業用が9.2% (同0.4ポイント減)、工業用が65.7% (同3.2ポイント増)、その他用が6.7% (同0.9ポイント減) であった。(寄田 保夫)

## <平成 30(2018)年暦年国内概況>

- ◆ 2018年の日本経済は、北海道胆振東部地震や西日本豪雨などの自然災害の影響があったものの、通年で見ると緩やかな拡大傾向が続いた。生産はおおむね順調で鉱工業生産指数（2015年=100）は前年比1.0%上昇の104.1となり、3年連続の上昇となった。ただし、建築工事着工床面積は同2.7%、公共工事着工は11月までの累積で前年同期比7.5%減少しており、建設投資は減少している。2人以上の世帯における消費支出は11月までの累積で同1.4%増加しているが、新車販売台数は前年比1.3%減などと弱い。消費者物価指数は同7.0%上昇し、エネルギーは化石燃料輸入価格の上昇を背景に前年比0.4%上昇した。有効求人倍率は前年から0.11ポイント上昇し1.61倍となった。戦後1.5倍以上の水準となったのは、1973年、2017年に続き3度目となる。貿易収支は、中国経済減速による輸出減少や、原油価格上昇による輸入増加を受け3年ぶりに1兆2,063億円の赤字となった。(相澤 なつみ)
- ◆ 一次エネルギー国内供給は前年比で1.2%減の $461.1 \times 10^{13}$ kcalとなった。石炭は、輸入が減少、同1.7%減の $122.3 \times 10^{13}$ kcalとなった。石油は、同3.1%減の $180.4 \times 10^{13}$ kcalとなり、6年連続で前年を下回った。天然ガス(含、LNG)は同3.7%減の $108.4 \times 10^{13}$ kcalとなり、4年連続で前年を下回った。原子力は大飯3・4号機、玄海3・4号機の再稼動があり、同68.8%増の $10.7 \times 10^{13}$ kcal、太陽光や風力等の新エネルギーは、同4.6%増の $20.8 \times 10^{13}$ kcalとなった。結果、石油依存度は39.1%と前年比0.8ポイント低下、6年連続で前年を下回り、2年連続で40%を下回った。一次エネルギー国内供給における化石燃料のシェアは89.1%となり、前年より1.6ポイント低下、4年連続で前年を下回った。なお、CO<sub>2</sub>排出量は同2.7%減の1,107Mt-CO<sub>2</sub>で、5年連続の減少となった。(恩田 知代子)
- ◆ 2018年の電力広域的運営推進機関による電力需要実績は、前年比1.1%増の9,058億kWhとなった。全国的な猛暑の影響から、冷房需要が増加し7月～9月の需要は前年同期比4.2%増の2,424億kWhとなった。2018年の日本原子力産業協会による原子力発電量は大飯3、4号機、及び玄海3、4号機が再稼動したことに伴い、前年比68.8%増の515億kWhとなり、設備利用利用率は同6.6ポイント増加の15.0%となった。(江藤 諒)

- ◆ 燃料油販売は1億7,000万kl、前年比3.2%減となった。油種別に見ると、ガソリンは燃費の改善などから同1.6%減となった。軽油は貨物の輸送効率・燃費改善が進展するものの、経済活動の回復やネット通販の拡大などで荷動きが活発になり、同0.5%増となった。ナフサはエチレンプラントの定期修理が多い年であったことなどから同5.7%減となった。灯油は年末にかけて前年よりも暖冬であったことから同7.8%減となった。B・C重油は電力向け需要の大幅な減少が継続し、同6.0%減となった。LPGはエチレンプラントの定期修理が多い年であったことや年末にかけて暖冬であったことから同5.6%減と前年を下回った。(江藤 諒)
  
- ◆ 2018年の原油処理量は前年比4.3%減の1億7,868万klとなり、2年連続減少となった。原油輸入量は同4.0%減の1億8,009万kl となり、6年連続の減少となった。原油輸入を地域別に見ると、中東からの輸入量はサウジアラビアやイランなどの減少により同2.4%減、中東以外からの輸入量は米国から同26.1%増と大きく増加したものの、インドネシア、ロシアなどからの減少により同14.7%減となった。中東依存度は前年を1.5ポイント上回り、2009年以来初めて88%を超えて88.2%となった。燃料油輸入量はガソリン輸入が倍増したことなどで同7.5%増の3,604万kl、燃料油輸出量は同5.5%減の3,033万klであった。(江藤 諒)
  
- ◆ 1～11月累計の都市ガス販売量は、382億4,052万m<sup>3</sup>(41.8605MJ/m<sup>3</sup>換算)で、前年比0.2%増となった。用途別に見ると、家庭用は年初は厳冬で前年を上回ったものの家庭用は2.1%減、商業用は同0.4%増、工業用は同0.9%増、その他用は同1.2%増となった。用途別のシェアを見ると、家庭用が22.2%(同0.5ポイント増)、商業用が10.4%(同横ばい)、工業用が58.6%(同0.4ポイント減)、その他用が8.9%(同0.1ポイント減)となった。(寄田 保夫)

お問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)

経済動向、エネルギー需給の推移（四半期ベース）

		2017Q4	2018Q1	2018Q2	2018Q3	2018Q4	伸び率(%)				
							2017Q4	2018Q1	2018Q2	2018Q3	2018Q4
主要経済指標等	実質GDP(季調済、2011年基準10億円)	534,128	532,397	536,037	532,648	-	(0.4)	(-0.3)	(0.7)	(-0.6)	-
	名目GDP(10億円)	550,755	547,696	550,548	546,739	-	(0.5)	(-0.6)	(0.5)	(-0.7)	-
	鉱工業生産指数(季調済、2015年=100)	104.4	103.3	104.5	103.1	105.1	(1.2)	(-1.1)	(1.2)	(-1.4)	(2.0)
	素材系生産量(千t)										
	粗鋼	26,395	26,406	26,565	25,654	25,699	0.0	0.7	1.8	-1.1	-2.6
	エチレン	1,685	1,601	1,392	1,489	1,674	1.7	-4.3	-11.1	-7.3	-0.6
	セメント	14,851	13,116	13,377	13,902	14,904	2.2	-1.9	2.6	-0.3	0.4
	紙・板紙	6,755	6,527	6,505	6,385	-	1.2	-1.6	-1.3	-2.2	-
	国内企業物価指数(2015年=100)	99.7	100.3	100.9	101.8	102.0	3.4	2.4	2.5	3.0	2.3
	消費者物価指数(2015年=100)	100.9	101.2	100.9	101.4	101.8	0.6	1.3	0.6	1.1	0.9
為替相場(日銀)(¥/\$)	113.0	108.2	109.1	111.4	112.9	(1.7)	(-4.2)	(0.8)	(2.2)	(1.3)	
暖房度日(度日)	345	689	28	0	239	31.2	1.5	-24.2	-	-30.8	
冷房度日(度日)	2	0	37	445	7	-74.5	-	111.9	18.0	191.7	
一次エネルギー	国内供給(ktoe)	119,826	123,702	105,093	115,754	116,581	1.5	-1.3	-1.9	1.2	-2.7
	石炭	32,229	30,842	28,253	32,113	31,056	2.0	-2.2	-0.9	-0.1	-3.6
	石油	48,346	50,123	40,998	43,138	46,128	-1.7	-1.8	-5.3	-0.9	-4.6
	原油(国産を含む)	42,864	43,626	37,866	41,776	40,328	-2.0	-5.0	-5.0	-3.8	-5.9
	石油製品	5,481	6,497	3,132	1,362	5,800	0.6	27.2	-8.6	1,786.3	5.8
	天然ガス	801	816	664	700	714	10.1	-10.8	-13.6	-2.2	-10.9
	LNG	27,751	31,478	22,147	26,598	25,291	1.4	-3.4	-3.6	1.9	-8.9
	水力	4,019	3,760	5,542	4,964	4,288	7.8	10.3	12.0	4.3	6.7
	原子力	1,714	1,480	2,175	3,018	4,012	96.2	50.6	41.7	43.8	134.0
	新エネルギー等	4,965	5,204	5,313	5,224	5,092	8.2	7.6	4.2	4.0	2.6
CO <sub>2</sub> 排出量(Mt-CO <sub>2</sub> )	293.2	301.9	249.7	278.6	276.5	-0.1	-2.4	-3.2	0.4	-5.7	
電力需給(電気事業者計)	発電電力量(百万kWh)	229,925	247,412	198,438	240,912	-	2.7	1.5	-0.7	2.0	-
	水力	20,126	19,249	27,459	25,361	-	10.0	12.2	12.1	5.6	-
	火力	198,022	216,815	156,110	197,058	-	-0.1	-0.7	-4.9	-0.8	-
	原子力	7,868	6,739	9,943	13,888	-	95.8	48.6	41.4	44.1	-
	新エネルギー等	3,789	4,546	4,868	4,545	-	13.9	17.6	16.4	19.3	-
	燃料消費										
	石炭(千t)	29,558	30,348	23,729	30,181	-	2.7	4.2	-1.9	-2.3	-
	原油(千kl)	430	666	71	362	-	-26.6	-23.7	-72.1	52.3	-
	重油(千kl)	1,523	2,276	730	1,525	-	-26.4	5.4	-31.0	3.0	-
	LNG(千t)	13,409	15,065	11,017	13,345	-	-0.8	-4.9	-0.3	0.4	-
販売電力量(百万kWh)	218,144	250,802	205,608	241,936	-	1.4	3.3	-1.7	2.4	-	
低圧	72,332	101,501	64,614	79,773	-	2.3	5.2	-4.4	5.0	-	
電灯	64,060	90,316	56,808	68,770	-	2.7	5.4	-4.5	5.1	-	
電力	8,273	11,186	7,806	11,003	-	-0.0	3.9	-3.8	4.2	-	
高圧	74,434	78,742	71,079	86,713	-	0.3	1.9	-0.6	2.1	-	
特別高圧	58,077	56,898	58,432	63,125	-	1.3	1.2	2.0	2.6	-	
電力需要(百万kWh)	224,934	243,561	202,017	242,357	217,855	2.9	1.6	1.0	4.2	-3.1	
都市ガス販売	都市ガス販売量(万m <sup>3</sup> )	1,034,843	1,289,459	913,520	986,694	-	3.5	2.3	-7.3	5.1	-
	家庭用	235,623	394,038	222,496	114,319	-	9.4	3.8	-6.5	-4.8	-
	商業用	97,355	127,945	91,593	120,042	-	0.7	3.1	-3.5	2.9	-
	工業用	621,042	650,608	528,600	644,106	-	2.5	1.1	-8.8	7.1	-
	その他用	80,823	116,868	70,830	108,227	-	-1.2	3.3	-2.3	7.5	-
石油製品販売	燃料油販売(千kl)	46,361	46,978	37,952	40,354	44,715	-1.9	-1.7	-5.2	-2.5	-3.6
	ガソリン	13,158	12,230	12,466	13,663	12,709	-1.9	-0.6	-0.9	-1.5	-3.4
	ナフサ	11,904	11,081	9,789	10,486	11,965	1.2	-7.1	-10.9	-5.8	0.5
	灯油	5,727	7,243	1,835	1,518	4,764	5.2	-0.3	-11.2	-5.5	-16.8
	軽油	8,718	8,405	8,121	8,451	8,868	-0.5	1.9	-0.5	-0.9	1.7
	A重油	3,127	3,593	2,460	2,368	2,890	-4.9	-0.4	-2.2	4.4	-7.6
	B/C重油	2,559	3,347	1,882	2,461	2,324	-22.4	6.0	-22.9	-1.5	-9.2
	うち電力向け	1,319	2,225	805	1,446	-	-33.3	8.7	-38.3	5.5	-
LPG(千t)	3,161	3,598	2,828	2,554	2,907	-1.4	-2.7	-5.2	-7.3	-8.0	
原油需給	輸入量(千kl)	47,668	46,055	41,478	45,073	44,871	-0.4	-5.2	-5.6	-5.0	-5.9
	中東依存度(%)	88.5	89.5	89.2	88.1	86.2	[1.1]	[2.1]	[5.2]	[1.0]	[-2.3]
	原油処理量(千kl)	46,576	47,082	41,248	45,372	44,068	-2.0	-5.2	-4.8	-4.0	-5.4
エネルギー価格等	通関レート(¥/\$)	112.78	109.45	108.38	111.07	113.01	(1.7)	(-3.0)	(-1.0)	(2.5)	(1.7)
	原油価格(輸入CIF、\$/bbl)	58.62	66.44	70.54	76.60	77.38	(18.2)	(13.4)	(6.2)	(8.6)	(1.0)
	LNG価格(輸入CIF、\$/t)	412.85	469.02	502.16	529.83	571.79	(-3.7)	(13.6)	(7.1)	(5.5)	(7.9)
	一般炭価格(輸入CIF、\$/t)	103.99	109.03	114.93	121.34	124.12	(6.5)	(4.8)	(5.4)	(5.6)	(2.3)
	化石燃料輸入額(億円)	35,986	42,646	47,425	41,169	50,308	23.1	28.6	9.1	14.4	39.8

注：伸び率は前年同期比。但し()内は前期比、[]内は前年同期差。

経済動向、エネルギー需給の推移（暦年ベース）

	2014	2015	2016	2017	2018	伸び率(%)					
						2014	2015	2016	2017	2018	
主要経済指標等	実質GDP(2011年連鎖価格10億円)	510,687	516,932	520,081	530,112	-	0.4	1.2	0.6	1.9	-
	名目GDP(10億円)	513,876	531,320	535,986	545,122	-	2.1	3.4	0.9	1.7	-
	鉱工業生産指数(2015年=100)	101.2	100.0	100.0	103.1	104.1	2.0	-1.2	0.0	3.1	1.0
	素材系生産量(千t)										
	粗鋼	110,666	105,134	104,775	104,661	104,324	0.1	-5.0	-0.3	-0.1	-0.3
	エチレン	6,647	6,883	6,279	6,530	6,157	-0.7	3.5	-8.8	4.0	-5.7
	セメント	57,913	54,827	53,255	55,195	55,298	-0.1	-5.3	-2.9	3.6	0.2
	紙・板紙	26,479	26,228	26,275	26,512	-	0.9	-0.9	0.2	0.9	-
	国内企業物価指数(2015年=100)	102.4	100.0	96.5	98.7	101.3	3.2	-2.3	-3.5	2.3	2.5
	消費者物価指数(2015年=100)	99.2	100.0	99.9	100.4	101.3	2.7	0.8	-0.1	0.5	1.0
為替相場(日銀)(¥/\$)	105.8	121.0	108.8	112.2	110.4	8.4	14.3	-10.1	3.1	-1.6	
暖房度日(度日)	1,022	900	910	1,061	956	-0.4	-11.9	1.2	16.6	-9.9	
冷房度日(度日)	363	322	431	397	489	-29.1	-11.3	33.8	-7.8	23.2	
一次エネルギー	国内供給(ktoe)	476,523	467,667	463,852	466,646	461,130	-2.0	-1.9	-0.8	0.6	-1.2
	石炭	124,409	123,423	123,028	124,438	122,264	0.3	-0.8	-0.3	1.1	-1.7
	石油	202,300	195,835	188,982	186,209	180,387	-6.3	-3.2	-3.5	-1.5	-3.1
	原油(国産を含む)	181,583	178,131	177,433	172,124	163,597	-6.1	-1.9	-0.4	-3.0	-5.0
	石油製品	20,717	17,704	11,549	14,085	16,791	-8.2	-14.5	-34.8	22.0	19.2
	天然ガス	2,997	2,892	2,943	3,199	2,893	-4.8	-3.5	1.8	8.7	-9.6
	LNG	115,063	109,840	109,737	109,411	105,514	1.9	-4.5	-0.1	-0.3	-3.6
	水力	16,989	17,988	17,034	17,137	18,554	1.9	5.9	-5.3	0.6	8.3
	原子力	0	938	3,783	6,330	10,685	-100.0	-	303.1	67.3	68.8
	新エネルギー等※ <sup>1</sup>	14,765	16,752	18,346	19,923	20,833	39.6	13.5	-	8.6	4.6
CO <sub>2</sub> 排出量(Mt-CO <sub>2</sub> )	1,199.4	1,161.6	1,145.3	1,137.9	1,106.7	-1.9	-3.1	-1.4	-0.6	-2.7	
電力需給(電気事業者計)	発電電力量(百万kWh)				909,773	-					
	水力				85,776	-					
	火力				779,001	-					
	原子力				29,073	-					
	新エネルギー等				15,647	-					
	燃料消費										
	石炭(千t)				113,767	-					
	原油(千kl)				1,794	-					
	重油(千kl)				6,222	-					
	LNG(千t)				53,692	-					
販売電力量(百万kWh)				906,415	-						
低圧				312,411	-						
電灯				274,704	-						
電力				37,707	-						
高圧				308,148	-						
特別高圧				233,178	-						
電力需要(百万kWh)※ <sup>2</sup>				896,124	905,790					1.1	
都市ガス販売	都市ガス販売量(万m <sup>3</sup> )	3,718,754	3,677,471	3,721,996	3,807,648	-	2.5	-1.1	1.2	2.3	-
	家庭用	961,206	944,809	927,305	967,683	-	1.0	-1.7	-1.9	4.4	-
	商業用	433,515	427,953	426,571	429,170	-	-2.8	-1.3	-0.3	0.6	-
	工業用	2,029,448	2,013,328	2,067,411	2,103,533	-	5.3	-0.8	2.7	1.7	-
	その他用	294,586	291,381	300,709	307,261	-	-2.4	-1.1	3.2	2.2	-
石油製品販売	燃料油販売(千kl)	185,224	181,933	178,266	175,567	169,999	-4.1	-1.8	-2.0	-1.5	-3.2
	ガソリン	53,608	53,113	52,849	51,904	51,068	-2.9	-0.9	-0.5	-1.8	-1.6
	ナフサ	43,666	46,560	44,614	45,948	43,321	-3.7	6.6	-4.2	3.0	-5.7
	灯油	17,214	15,878	16,343	16,666	15,359	-4.4	-7.8	2.9	2.0	-7.8
	軽油	33,789	33,665	33,372	33,664	33,846	0.1	-0.4	-0.9	0.9	0.5
	A重油	12,737	11,832	12,170	11,517	11,311	-5.2	-7.1	2.9	-5.4	-1.8
	B/C重油	18,995	15,476	13,624	10,657	10,014	-15.8	-18.5	-12.0	-21.8	-6.0
	うち電力向け	10,690	8,529	7,920	6,040	-	-15.4	-20.2	-7.1	-23.7	-
	LPG(千t)	14,685	13,003	12,456	12,596	11,887	-3.7	-11.5	-4.2	1.1	-5.6
	原油需給	輸入量(千kl)	199,697	195,873	192,724	187,639	180,090	-5.2	-1.9	-1.6	-2.6
中東依存度(%)		83.0	81.8	86.6	86.8	88.2	[-0.2]	[-1.1]	[4.8]	[0.2]	[1.5]
原油処理量(千kl)		191,144	189,330	191,120	186,786	178,678	-4.7	-0.9	0.9	-2.3	-4.3
エネルギー価格等	通関レート(¥/\$)	105.24	120.96	108.96	112.33	110.48	8.6	14.9	-9.9	3.1	-1.6
	原油価格(輸入CIF、\$/bbl)	104.72	55.02	41.47	54.23	72.88	-5.2	-47.5	-24.6	30.7	34.4
	LNG価格(輸入CIF、\$/t)	842.88	536.03	361.38	416.98	516.76	1.2	-36.4	-32.6	15.4	23.9
	一般炭価格(輸入CIF、\$/t)	97.79	79.57	73.57	99.15	117.52	-12.2	-18.6	-7.5	34.8	18.5
	化石燃料輸入額(億円)	276,924	182,181	120,520	158,400	192,758	0.9	-34.2	-33.8	31.4	21.7

注: 伸び率は前年比、[]内は前年差。

※<sup>1</sup> 2016年4月より統計の対象が変更となったため、2016年、2017年の対前年比は掲載していない。

※<sup>2</sup> 電力広域的運営推進機関が発表する需要実績は2016年4月以降であるため、2017年以降を掲載している。